

第61回BCP維持管理研究会 議事録

1. 日時：2016年 1月21日(木) 16:00-18:30

2. 場所：トッパンフォームズ株式会社

3. 出席者（敬称略） 11名

小田、内山、澤田、守護、高桑、高橋、半田、平川、柳谷、山下、中谷（書記）

4. 内容

（1）BCM年間計画策定の考え方

BCMの成熟度評価基準を明確にして、サプライヤを含めた長期に渡る総合的な有効性、適合性を向上するための計画策定を立案しなければならない。

＜計画策定に必要な8項目＞

- ①設備・備蓄品等の追加や配置場所、及び点検・機能有効性確認の計画策定
- ②リスク評価で発見した影響を軽減・抑制するための対策実施状況の確認・評価
 - －影響を抑制するコントロール、予防手段の対策実施状況
 - －影響を回避する対策実施状況
 - （二重化、クラウド化、代替施設、アウトソース、他社との互惠契約など）
- ③緊急事態発生時に必要な設備機器の配備状況や機能及び動作確認の計画策定
- ④教育・訓練（演習）計画の策定
 - －教育・訓練（演習）の全体スケジュール策定
 - －全従業員向けの教育カリキュラム策定、及び教育実施計画
 - －従業員の安全確保に関する訓練計画（防災）
 - －危機対応要員のスキルアップ計画
 - －事業継続要員のスキル向上計画（スピードアップ・正確性など）
- ⑤BCP／BCMの推進・運営要員の育成計画策定（人数・スキル等）
 - －BCMS推進者の育成計画
 - －内部監査員の育成計画
- ⑥パフォーマンス評価、及び監査の実施計画策定
 - －評価方法（適合性、適切性、有効性）の検討
 - －監査の実施計画
 - －監査の範囲・項目、及び監査要員育成計画の策定

⑦マネジメントレビューの開催計画

- －全体活動の推進状況や関連部門の活動状況収集・整理
- －トップマネジメントとの日程調整、及びレビュー資料作成

⑧BCP/BCMの見直しと改善計画

- －方針、対象範囲、BIA/RA、及び事業継続戦略などの見直し実施計画
- －オーナーからの改善指示に対する改善実施計画

※16年に向けて各社の現状を評価しつつ、自社(拠点含む)のレベルに応じた最適な年度計画を策定する。

(2)ISO/DIS 22325 (緊急事態管理能力アセスメントのための指針)

参考資料として配布(中谷)

DIS版であり、今後大きく変更されることも予想されるため、参考のために配布した。

Q&A

・BCMを維持強化するためにどうすれば良いのか？

⇒ガバナンスを効かせる。

⇒既存のマネジメントシステムを最大限に活用し、BCMを運用している。

情報セキュリティとBCMIは、結構相性が良い(一緒に話やすい)ので併せて指導している。

⇒消去的な社員には、厳しい演習を行い体得(納得)させた。(かなり効果があった)

⇒新人の時から時間をかけて、BCの重要性を理解させている。

・操業停止してまで、訓練ができない。

⇒訓練範囲を明確に定めて、影響を最小限にして工夫した訓練している。

(業務を停止して、多くの時間を割いて訓練を実施する企業もかなりあります)

⇒某大手製造会社では、サプライヤを巻き込んで定期的に訓練しています。

2. 次回開催

2016年 3月

大型台風の上陸に伴う演習実施

以上